

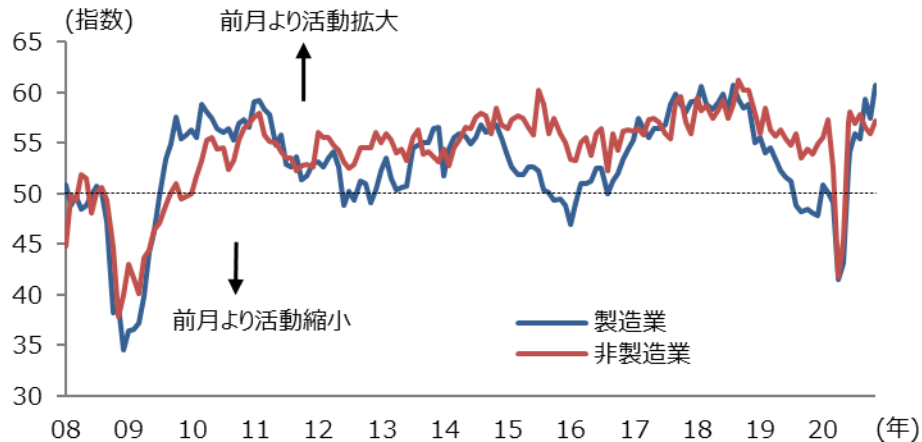
米国

ISM景況指数（2020年12月）

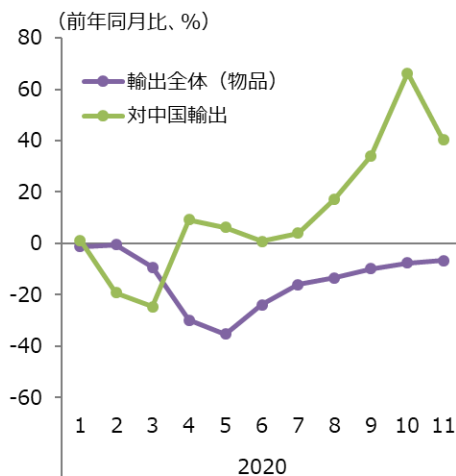
米企業景況感は高水準を維持も、供給網混乱が制約要因になることが懸念

政策・経済センター
田中 高夫
03-6858-2717

1 総合指数

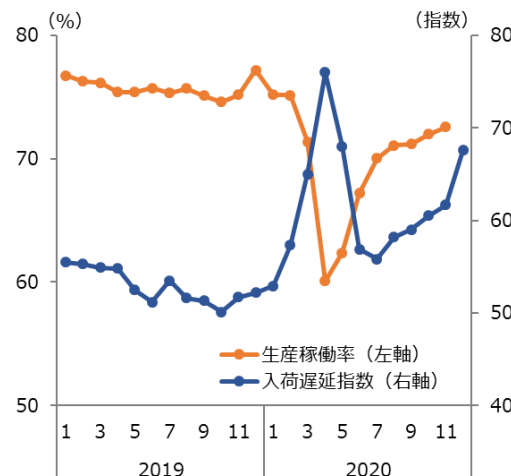


2 輸出額（前年同月比）



出所: 米国勢調査局

3 入荷遅延と生産稼働率（製造業）



出所: 米供給管理協会、FRB

評価ポイント

今回の結果

- 12月のISM製造業景況指数（1/5公表）は60.7と、前月（57.5）から上昇し、18年8月来の高水準となった。7カ月連続で活動拡大を示す50を上回った。
- 製造業の指数を構成する5項目のうち、新規受注（67.9）、生産（64.8）、雇用（51.5）、入荷遅延（67.6）、在庫（51.6）の5項目全てで上昇した。業種別では、印刷関連、非鉄を除く、16業種が活動拡大を報告している。
- 12月のISM非製造業景況指数（1/7公表）は57.2と、前月（55.9）から上昇し、同じく7カ月連続で活動拡大を示す50を上回った。
- 非製造業の指数を構成する4項目のうち、ビジネス活動（59.4）と新規受注（58.5）が上昇した一方で、雇用（48.2）は縮小に転じた。業種別では、14業種で活動拡大を報告した一方、芸術・娯楽、宿泊・飲食、不動産・賃貸、その他サービスは活動縮小を報告した。

基調判断と今後の流れ

- 米国企業の景況感、感染拡大の中でも高い水準を維持している。
- 製造業では、中国向けなど輸出が回復傾向にあること（図表2）、感染拡大によりコト消費からモノ消費に消費の中心が移ったことがプラス要因である。今後追加経済対策による現金給付が行われることから、更なる需要増も期待できる。
- 非製造業でも、輸出や新規受注が増加したことから高水準を維持している一方で、感染拡大の影響で芸術・娯楽、宿泊・飲食など外出関連産業が活動を縮小させている。活動拡大を報告した他の業種でも、感染状況次第では企業マインドの悪化につながりかねない。
- また、製造業・非製造業ともに景況指数上昇は入荷遅延増加の寄与も大きい。感染拡大による工場稼働率の回復鈍化や物流の遅れから供給網が乱れ、増加する新規受注に追いついていない可能性がある（図表3）。今後、感染拡大が長引けば供給制約による活動の低下が懸念される。